

## トトロの森 51 号地・56 号地・61 号地・64 号地の植生

川越 みなみ・児嶋 翼  
(トトロのふるさと基金 調査部会)

### 要旨

トトロの森 51 号地、56 号地、61 号地及び 64 号地の調査の結果を示した。51 号地ではコナラが優占し、下層植生としてはアズマネザサが繁茂していた。56 号地ではコナラが優占し、下層植生としてはアズマネザサが繁茂していた。61 号地ではコナラが優占し、下層植生としてはオオアラセイトウが繁茂していた。64 号地ではコナラが優占し、下層植生としてはキツタが繁茂していた。

**キーワード:** 里山 ; 多様性 ; 雑木林

### はじめに

里山林、あるいは雑木林などと呼ばれる里地地域の二次林は、かつて農用林、薪炭林などとして利用され、人為的な植生管理によって維持されてきた。また、十数年に一度の定期的な伐採、毎年の下草刈りや落ち葉掻きなどの集約的な管理がなされることで、様々な遷移段階の植生が維持され、地域生態系全体で生物多様性が保全されていた (辻・星野 1992 ; 大久保ほか 2003)。しかし、1950 年代に始まる高度経済成長期における燃料革命や化学肥料の普及など、生活様式の変貌に伴って、雑木林の存在価値は低下し、植生管理は放棄され、植生遷移が進行した。定期的な植生管理が放棄されたことにより、生育を抑制されていたアズマネザサや低木類が生長し、低木層において優占する結果、地表付近は暗くなり、光をめぐる競争で不利な立場に置かれた草本植物は消失すると考えられている (加藤・谷地 2003 ; 山崎ほか 2000)。

里地地域における多様な植物相の保全を図るためには、地形や土壌といった地域の土地自然を把握し、多様な土地自然条件がもたらす植生構造の違いを明らかにすると同時に、適正な植生管理によって成立する様々な遷移段階における植生構造を把握することが重要である (大久保ほか 2003)。

公益財団法人トトロのふるさと基金では、狭山丘陵の里山景観の保全を目的として、土地の買い取りによる里山面積の確保と管理を行っている (図 1)。トラスト地として取得時には、管理放棄されて 40 年程度経過した状態であるものが多い。これまで取得されてきたトラスト地については、早川 (2003、2005) 深澤 (2010)、川越 (2011、2012、2013、2014、2015、2017)、川越・横山 (2018)、川越・児嶋 (2019、2022、2023)、関口 (2022) により、全体を単一の方法で管理するよりも、さまざまな管理方法の場所が入り混じっている方が、全体としての生物の多様性は高くなるとの観点から、トラスト地の管理方針の提案が行われてきた。

本報告では、2019 年～2024 に新たに取得されたトトロの森 51 号地、56 号地、61 号地及び 64 号地の植生の現状の調査結果を記述し、今後の適切な管理方針策定のための基礎資料として記録をここに残す。51 号地はトラスト地として取得する前に、早稲田大学所沢校地における夜間照明の問題と上流水源地における墓地の開発問題による葛籠入湿地への生態系影響を評価することを

目的とした植生、湧水量、水質、照度調査を行った。その際の調査結果もあわせて記録する。

## 調査地概要

調査地は、トトロの森 51 号地、56 号地、61 号地及び 64 号地である（トトロのふるさと基金 2025）。

51 号地は 2019 年 5 月 30 日に取得された。面積は 2,773m<sup>2</sup>である。トトロの森として初めての湿地の取得であった。「トトロの森・葛籠入湿地水源地」として所沢市とともに環境復元の取り組みを行っている場所を水源とする湿地を一部に含む（図 1）。1960 年代まで水田耕作が行われていたが放棄され湿地化し、現在は乾燥化している。

56 号地は 2021 年 11 月 1 日に取得された。面積は 1,237.44m<sup>2</sup>である。東京都東村山市の八国山緑地から南側に位置する 1 ヘクタール強のまとまりのある雑木林の一面にある（図 2）。東側は住宅に隣接し、西側は東村山市が取得を決定している薬師山緑地で、最近まで農用林として利用されていた様子がうかがえる。取得時すでにほとんどのコナラがナラ枯れ被害にあっていた。

61 号地は 2023 年 5 月 22 日に取得された。面積は 4,836m<sup>2</sup>である。狭山丘陵から 2km ほど離れた平地林の一面にあり、トトロの森 57 号地に隣接している（図 3）。この土地を含む平地林の全体の規模はおおよそ 30 ヘクタール、都内最大級の規模である。

64 号地は 2024 年 4 月 24 日に取得された。面積は 1,749m<sup>2</sup>である。近くにはトトロの森 33 号地、34 号地、41 号地、51 号地がある（図 4）。手入れが不足している雑木林であり、多数の樹木がナラ枯れ被害にあっている。

## 調査方法

### 1. 上層木

地上から生えている胸高直径 1cm 以上の木本植物について、種名、幹周（cm）および樹高（m）を記録した。

得られたデータから、樹種ごとに胸高直径（DBH）（cm）の平均値と、胸高断面積（BA）合計（cm<sup>2</sup>/100 m<sup>2</sup>）を算出し、上層木の現存量の指標とした。

胸高断面積合計とは、各立木の胸高断面積を合計したもので、森林の大きさを調べる指数である。以下の式で求められる。

$$\text{胸高断面積合計 (BA)} = (\text{胸高直径} / 2) \times (\text{胸高直径} / 2) \times 3.14$$

51 号地は調査地全域を 7 ヶ所に区分して調査を行った。1～5 は陸域、6 と 7 は水域である。上層木調査は 1～5 のコドラート全域で調査を行った。（図 5）。調査は 2025 年 6 月 14 日に行った。

56 号地は調査地全体で調査を行った（図 6）。調査は取得直後の 2022 年 2 月 12 日に実施したが、その後ナラ枯れによる伐採の影響で大幅な植生変化が生じ、管理方針策定のため 2025 年 5 月 24 日に再度調査を実施した。

61 号地は調査地内に 10m×10m のコドラートを 10 ヶ所と 10m×7m（短辺は 6m）のコドラートを 1 ヶ所設置し調査を行った（図 7）。調査は 2025 年 2 月 23 日に行った。

64 号地は調査地内に 10m×10m のコドラートを 5 ヶ所設置し調査を行った（図 8）。調査は 2025 年 1 月 11 日に行った。

## 2. 下層植生

1m×1m のプロットを設置し、プロット中の草本植物および胸高直径 1cm 未満、高さ 1m 未満の木本植物について、種名、被度(%)および高さ (cm、自然高) を記録した。プロットあたりの出現頻度(%)から、常在度を算出した。常在度は、I : 20%未満、II : 20-39%、III : 40-59%、IV : 60-79%、V : 80-100%を示す。

51 号地は上層木調査用のコドラート 1・3・4・5 内で各 5 ヶ所の計 20 ヶ所でプロットを設置した。コドラート 2 にはプロットを設置しなかった (図 9)。調査は 2025 年 6 月 14 日に行った。

56 号地は 2022 年の調査ではトラスト地全体でランダムに 29 ヶ所でプロットを設置した (図 6)。調査は 2022 年 4 月 9 日に行った。2025 年の調査ではトラスト地全体でランダムに 30 ヶ所でプロットを設置した (図 10)。調査は 2025 年 4 月 12 日に行った。

61 号地は上層木調査用の 10m×10m の各コドラート内に 5 ヶ所の計 55 ヶ所でプロットを設置した (図 11)。調査は 2025 年 2 月 23 日に行った。

64 号地は上層木調査用の 10m×10m のコドラート 1・2・5 に各 5 ヶ所、コドラート 3・4 に各 6 ヶ所の計 27 ヶ所でプロットを設置した (図 8)。調査は 2024 年 11 月 9 日に行った。

## 3. 湿地の植生調査

51 号地は陸域の調査 (上層木調査、下層植生調査) のほか、水域 (湿地部分) の植生調査を行った。1m×1m のプロットを設置し、プロット中の草本植物および胸高直径 1cm 未満、高さ 1m 未満の木本植物について、種名、被度(%)および高さ (cm、自然高) を記録した。プロットあたりの出現頻度(%)から、常在度を算出した。常在度は、I : 20%未満、II : 20-39%、III : 40-59%、IV : 60-79%、V : 80-100%を示す。

湿地全体でランダムに 15 ヶ所コドラートを設置し、各コドラート内に 3 ヶ所の計 45 ヶ所でプロットを設置した (図 12)。

調査は 2024 年 7 月 14 日、7 月 27 日、10 月 12 日に行った。夏と秋の季節変化を見るため、2 時期で実施した。

また、取得前に、湿地全体で調査を行った。上層木は 2017 年 11 月 17 日に調査を行った。コドラートは設けず、面積 2,638 m<sup>2</sup> 全域とその周辺を対象として調査を行った。下層植生はランダムに 10 ヶ所でプロットを設置した (図 13)。調査は 2018 年 5 月 3 日に行った。

## 4. 湧水量調査

51 号地を取得前に、容器計量法による湧水量調査を行った。3 秒間で容器に入った水量を測定した。測定位置は水の流入が 1 カ所に集中する橋の北側の暗渠入口に設定した (図 14)。湧水量調査は湧水の規模を把握する上で、保全・復活対策を行う上での基礎的資料となる。水循環が健全であるかを判断する上でも経時的に湧水量を把握することは重要である (環境省 2020)。調査は 2 回行った。

調査は 2017 年 11 月 17 日に行った。

## 5. 水質調査

51 号を取得前に、流水の有無、水温、pH、EC(μS/cm)の計測を行った。湿地全体でランダムに

トトロのふるさと基金 自然環境調査報告書 20: 4-28. 川越・児嶋 (2026) トトロの森 51 号地・56 号地、61 号地、64 号地の植生

12ヶ所測定を行った (図 15)。

調査は 2017 年 11 月 17 日に行った。

## 6. 照度調査

51 号を取得前に、早稲田大学所沢校地における夜間照明のホタルを中心とした野生動植物への影響を評価することを目的とした調査を実施した。照度計(Fine 製の FLX-1330 と FLX-1332)を使用し、日没後の夜間照明点灯中と消灯後のそれぞれで計測を行った。調査カ所は 6 カ所設定し (図 16)、1 カ所 2 分間隔で 10 分間計測し、平均照度を記録する。対照地は比良の丘に設定し、定点で同時に計測を行う。調査は 2018 年 1 月 19 日、2018 年 6 月 26 日、2018 年 7 月 11 日、2018 年 10 月 23 日の 4 回実施した。

## 7. 環境条件の評価

56 号地は環境条件を評価するために、土壌 pH、土壌硬度の計測を行った (表 1)。土壌硬度の測定には、山中式土壌硬度計を用いた。トラスト地全体でランダムに 6 地点で 3ヶ所ずつの計 18ヶ所測定を行った (図 17)。

調査は 2022 年 4 月 9 日に行った。

## トラスト地の調査結果と考察

### 1. 51 号地

#### 1-1. 陸域

上層木としては、24 種を記録した (表 2)。調査地 100 m<sup>2</sup>あたりの胸高断面積合計値 (BA) でみると、コナラは 1106.0cm<sup>2</sup> を占め、優占した。次いでミズキが 655.7cm<sup>2</sup>、シラカシが 531.8cm<sup>2</sup> 出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m<sup>2</sup>あたり 7.2 本出現した。

下層植生としては、38 種を記録した (表 3)。アズマネザサが調査地 1m<sup>2</sup>あたり被度 19.90%、常在度IVで出現し、優占した。次いでアオキが被度 13.70%、常在度IV、ジャノヒゲが被度 10.00%、常在度IVで出現した。

#### 1-2. 水域

夏の調査として行った 2024 年 7 月 14 日、7 月 27 日の調査では、53 種を記録した (表 4)。ミヤマシラスゲが調査地 1m<sup>2</sup>あたり被度 22.33%、常在度IIで出現し、優占した。次いでドクダミが被度 21.49%、常在度IV、ミゾソバが被度 17.62%、常在度IVで出現した。

秋の調査として行った 2024 年 10 月 12 日の調査では、42 種を記録した (表 5)。ミゾソバが調査地 1m<sup>2</sup>あたり被度 35.58%、常在度IVで出現し、優占した。次いでミヤマシラスゲが被度 29.56%、常在度III、ジャノヒゲが被度 16.09%、常在度IIで出現した。

取得前に葛籠入り湿地として行った調査では、上層木としては、21 種を記録した (表 6)。調査地 100 m<sup>2</sup>あたりの胸高断面積合計値 (BA) でみると、マルバヤナギは 197.0cm<sup>2</sup> を占め、優占した。次いでミズキが 123.2cm<sup>2</sup> 出現した。本数はシロダモが最も多く、調査地 100 m<sup>2</sup>あたり 0.87 本出現した。

下層植生としては、12 種を記録した (表 7)。ミヤマシラスゲが調査地 1m<sup>2</sup>あたり被度 18.00%、

トトロのふるさと基金 自然環境調査報告書 20: 4-28. 川越・児嶋 (2026) トトロの森 51 号地・56 号地、61 号地、64 号地の植生

常在度Vで出現し、優占した。次いでドクダミが被度 18.00%、常在度V、ミゾソバが被度 16.20%、常在度IIIで出現した。

### 1-3. 湧水量調査

調査は 2 回とも測定時間 3 秒に対し、水量 2 リットルであった (表 8)。通常は少ない量だが、10 月の降水量が多かったため、この結果になった可能性が考えられる。

### 1-4. 水質調査

調査地 1、2、3、4 は水温 6°C から 7°C であり、他の調査地点の水温 9.0°C ~ 11°C と比較して低かった。湧水の影響と考えられる。

調査地 5、6、7 は EC が 610  $\mu$  S/cm ~ 780  $\mu$  S/cm であり、他の調査地点の EC 220  $\mu$  S/cm ~ 420  $\mu$  S/cm と比較して高かった。伏流水や雨水による影響と考えられる (表 9)。

### 1-5. 照度調査

調査データにムラがあるものの調査結果を表 10 に示した。雲や月の状況、木の葉の状況等により湿地への照明の影響は様々だが、比較の木による遮蔽が大きい 1、3、4、5 周辺は照明の影響を受けにくく、一方木の少ない 2、6 は大きく影響を受けている可能性のある結果となった。2018 年 10 月 23 日の調査では、早稲田大学側に遮蔽壁が設置された後の調査であったため、照度の値は全体的に少ないものとなった。ただ、遮蔽壁の上部や高い位置にある常夜灯からの光りの漏れが懸念材料として残っている。

## 2. 56 号地

2022 年の調査では、上層木としては、40 種を記録した (表 11)。調査地 100 m<sup>2</sup> あたりの胸高断面面積合計値 (BA) でみると、コナラは 4197.1cm<sup>2</sup> を占め、優占した。次いでエノキが 488.9cm<sup>2</sup>、クヌギが 336.1cm<sup>2</sup> 出現した。本数はコナラが最も多く、調査地 100 m<sup>2</sup> あたり 3.6 本出現した。

下層植生としては、40 種を記録した (表 12)。アズマネザサが調査地 1m<sup>2</sup> あたり被度 53.21%、常在度Vで出現し、優占した。次いでコウヤボウキが被度 19.14%、常在度IVで出現した。

2025 年の調査では、上層木としては、15 種を記録した (表 13)。調査地 100 m<sup>2</sup> あたりの胸高断面面積合計値 (BA) でみると、コナラは 1946.44cm<sup>2</sup> を占め、優占した。次いでエノキが 535.63cm<sup>2</sup>、クヌギが 196.88cm<sup>2</sup> 出現した。本数はコナラが最も多く、調査地 100 m<sup>2</sup> あたり 1.8 本出現した。

下層植生としては、54 種を記録した (表 14)。アズマネザサが調査地 1m<sup>2</sup> あたり被度 16.77%、常在度Vで出現し、優占した。次いでコウヤボウキが被度 2.70%、常在度IVで出現した。

## 3. 61 号地

上層木としては、36 種を記録した (表 15)。調査地 100 m<sup>2</sup> あたりの胸高断面面積合計値 (BA) でみると、コナラは 929.2cm<sup>2</sup> を占め、優占した。次いでスギが 581.5cm<sup>2</sup>、クワが 259.6cm<sup>2</sup> 出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m<sup>2</sup> あたり 3.6 本出現した。

下層植生としては、33 種を記録した (表 16)。オオアラセイトウが調査地 1m<sup>2</sup> あたり被度 15.18%、常在度IIIで出現し、優占した。次いでヤブランが被度 7.98%、常在度IIIで出現した。

#### 4. 64 号地

上層木としては、20 種を記録した (表 17)。調査地 100 m<sup>2</sup>あたりの胸高断面積合計値 (BA) でみると、コナラは 2245.1cm<sup>2</sup>を占め、優占した。次いでアオダモが 299.8cm<sup>2</sup>、ヒサカキが 164.3cm<sup>2</sup>出現した。本数はアオキが最も多く、調査地 100 m<sup>2</sup>あたり 9.0 本出現した。

下層植生としては、45 種を記録した (表 18)。キヅタが調査地 1m<sup>2</sup>あたり被度 24.36%、常在度 V で出現し、優占した。次いでジャノヒゲが被度 20.04%、常在度 V で出現した。

#### 引用文献

早川直美 (2003) ナショナル・トラスト取得地の植生. トトロのふるさと財団自然環境および石造文化財調査報告書 2.47-86

早川直美 (2005) ナショナル・トラスト地の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 4.20-42

深澤遊 (2010) トラスト地とその周辺の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 7.2-28

Iida, S. and Nakashizuka, T. (1995) Forest fragmentation and its effect on species diversity in sub-urban coppice forests in Japan. *Forest Ecology and Management* 73.197-210.

環境省 (2020) 湧水保全・復活ガイドライン

(<https://www.env.go.jp/water/yusui/guideline/02.pdf> 2025 年 10 月 4 日アクセス)

加藤和弘・谷地麻衣子 (2003) 里山林の植生管理と植物の種多様性および土壌の化学性の関係. *ランドスケープ研究日本造園学会誌*. 66(5).521-524.

川越みなみ (2011) トトロの森 11 号地の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 8:2-5

川越みなみ (2012) トトロの森 12 号地・13 号地・14 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 9:2-10

川越みなみ (2013) トトロの森 15 号地・16 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 10:3-9

川越みなみ (2014) トトロの森 17 号地・18 号地・19 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 11:2-10

川越みなみ (2015) トトロの森 20 号地・21 号地・22 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 12:2-10

川越みなみ (2017) トトロの森 23 号地～33 号地、37 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 13:2-28

川越みなみ・横山伸夫 (2018) トトロの森 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、42 号地～44 号地、46 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 14:2-27

川越みなみ・児嶋翼 (2019) トトロの森 45 号地、47 号地～50 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 15:2-17

川越みなみ・児嶋翼 (2022) トトロの森 52 号地の植生. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 16:6-13

川越みなみ・児嶋翼 (2023) トトロの森 53 号地～56 号地、59 号地の植生. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 17:3-21

関口伸一 (2022) トトロの森 41 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告

トトロのふるさと基金 自然環境調査報告書 20: 4-28. 川越・児嶋 (2026) トトロの森 51 号地・56 号地、61 号地、64 号地の植生

書 16:2-5

前河正昭・中越信和 (1997) : 海岸砂地においてニセアカシア林の分布拡大がもたらす成帯構造と種多様性への影響. 日本生態学会 47;131-143.

大久保悟・神山麻子・北川淑子・武内和彦 (2003) 多摩丘陵におけるコナラ二次林および林縁の草本層種構成と微地形との対応. ランドスケープ研究日本造園学会誌. 66(5).537-542.

埼玉県 (2011) 埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編.

トトロのふるさと基金 (2025) トラスト取得地. 公益財団法人 トトロのふるさと基金.

[https://www.totoro.or.jp/national\\_trust/](https://www.totoro.or.jp/national_trust/)

辻誠治・星野義延 (1992) コナラ二次林の林床管理の変化が種組成と土壤に及ぼす影響. 日本生態学会誌 42:125-136

山崎寛・青木京子・服部保・武田義明 (2000) 里山の植生管理による種多様性の増加: ランドスケープ研究, 481-484



図 1. トトロの森 51 号地の位置図



図 2. トトロの森 56 号地の位置図

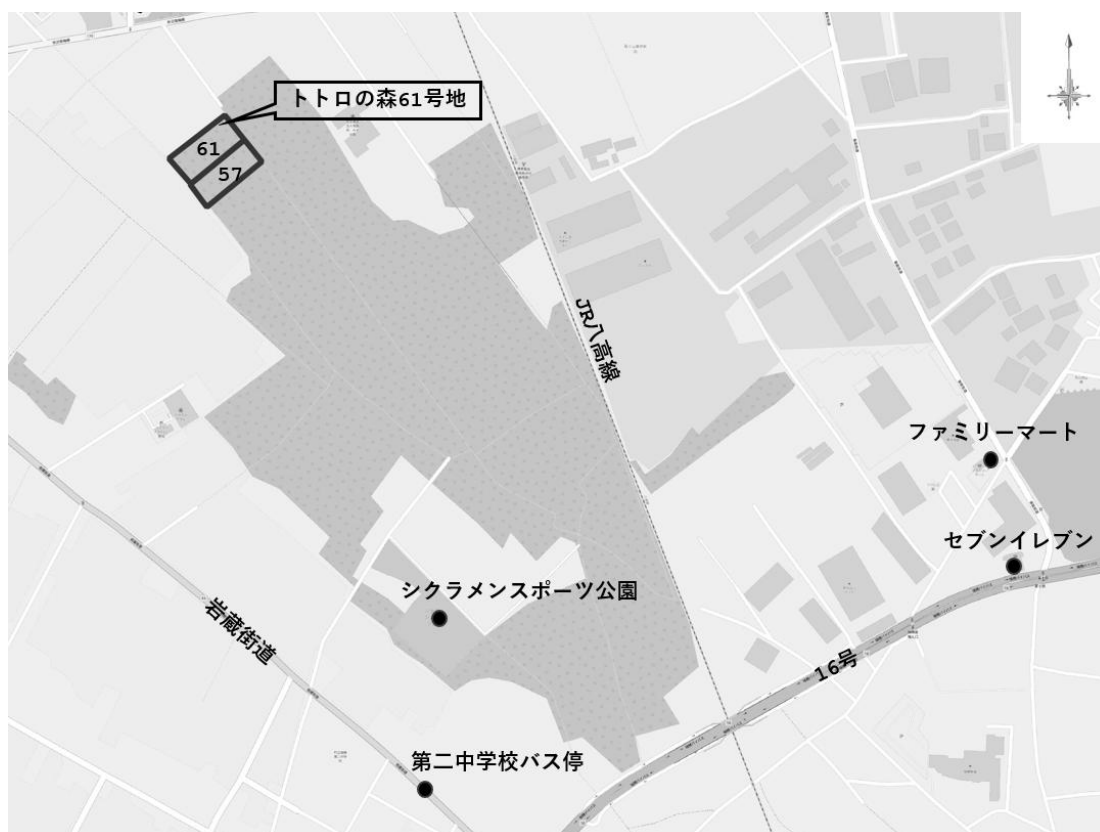


図 3. トトロの森 61 号地の位置図



図 4. トトロの森 64 号地の位置

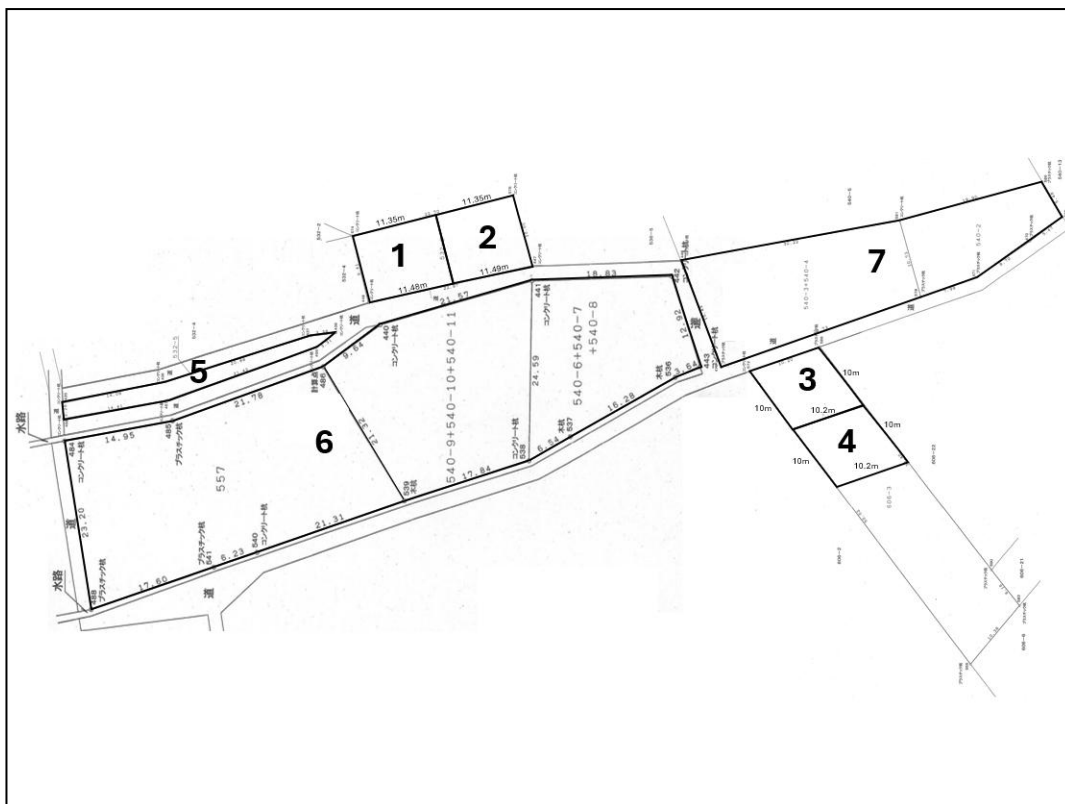


図 5. トトロの森 51 号地の上層木調査コードラート位置図。上層木調査は 1～5 で行った。

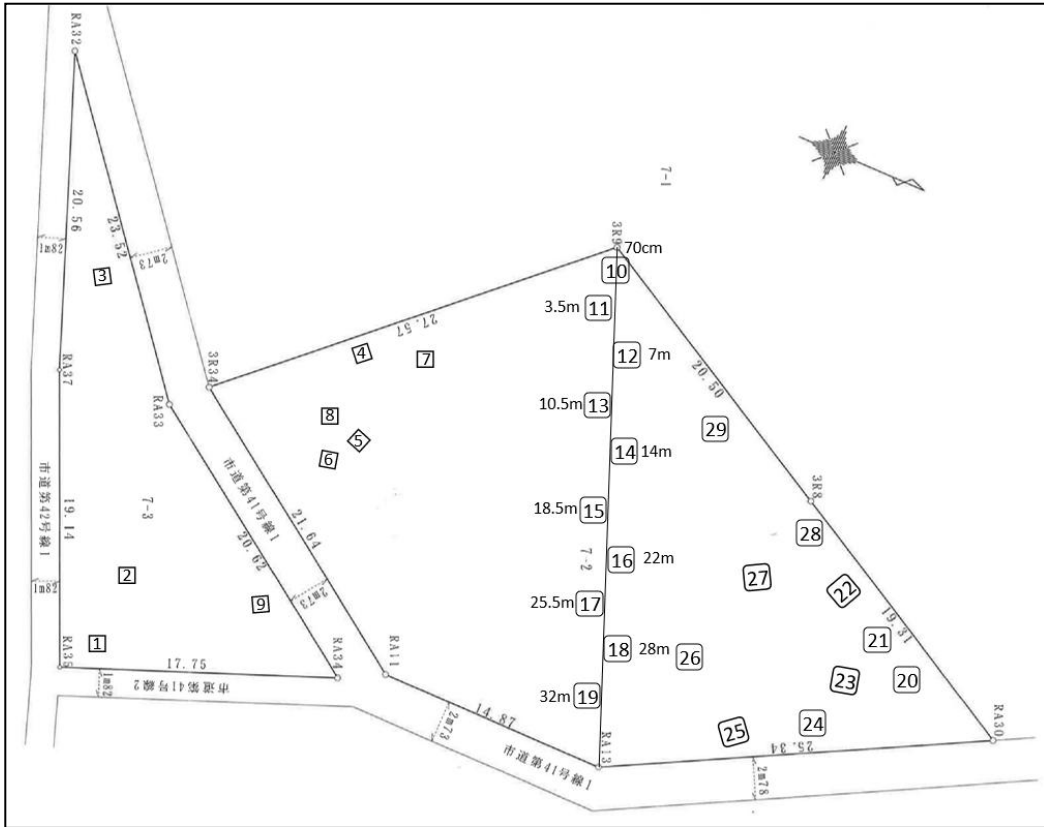


図 6. トトロの森 56 号地の下層植生調査コドラート位置図。上層木調査は 56 号地全体で行った。  
1～29 は 2022 年の下層植生調査コドラート位置を示す。

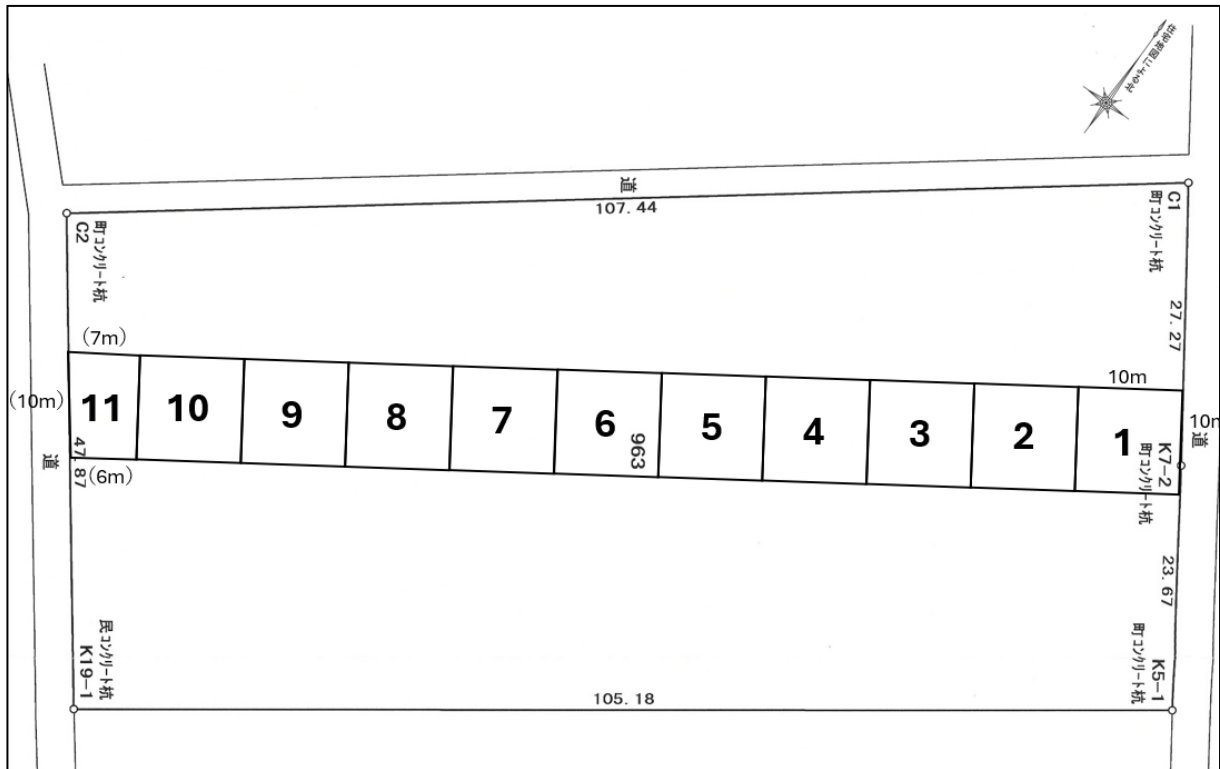


図 7. トトロの森 61 号地の上層木調査コドラート位置図

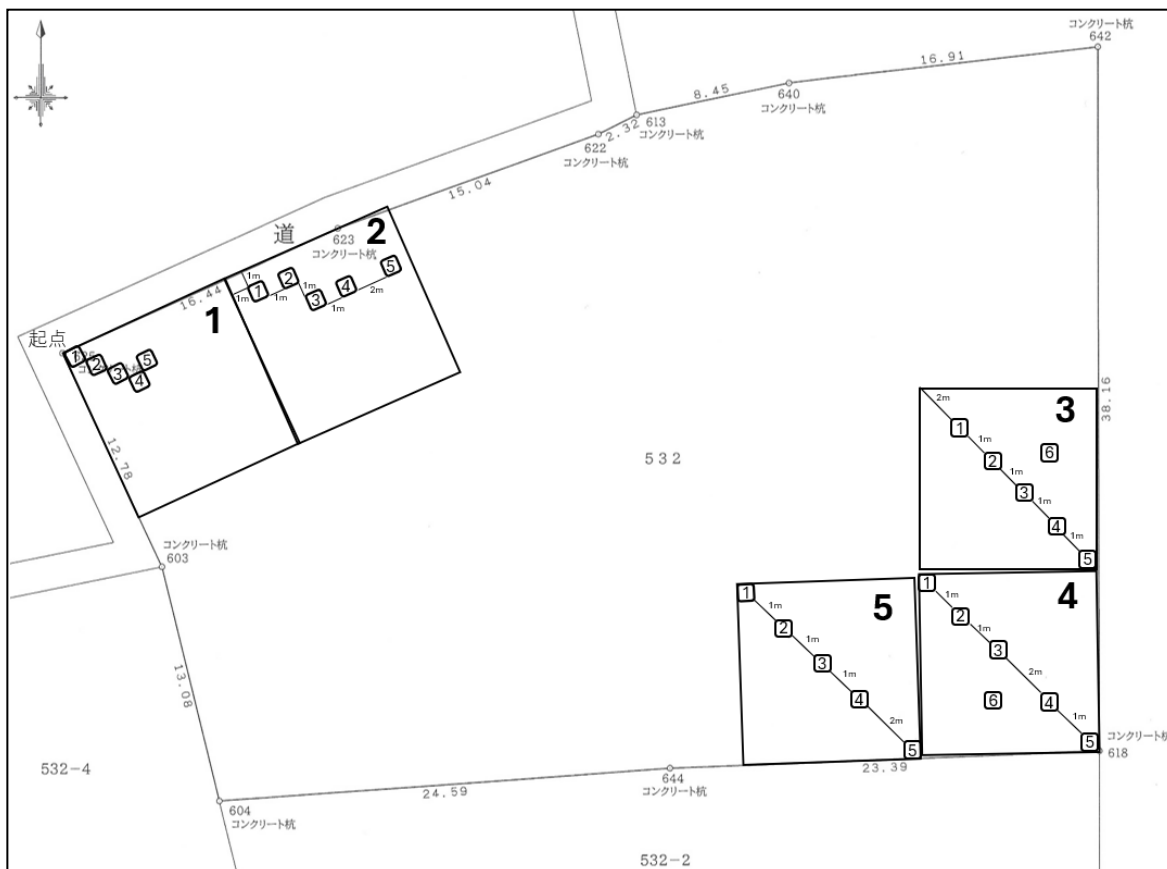


図 8. トトロの森 64 号地の上層木調査コドラート位置図と下層植生調査コドラート位置図

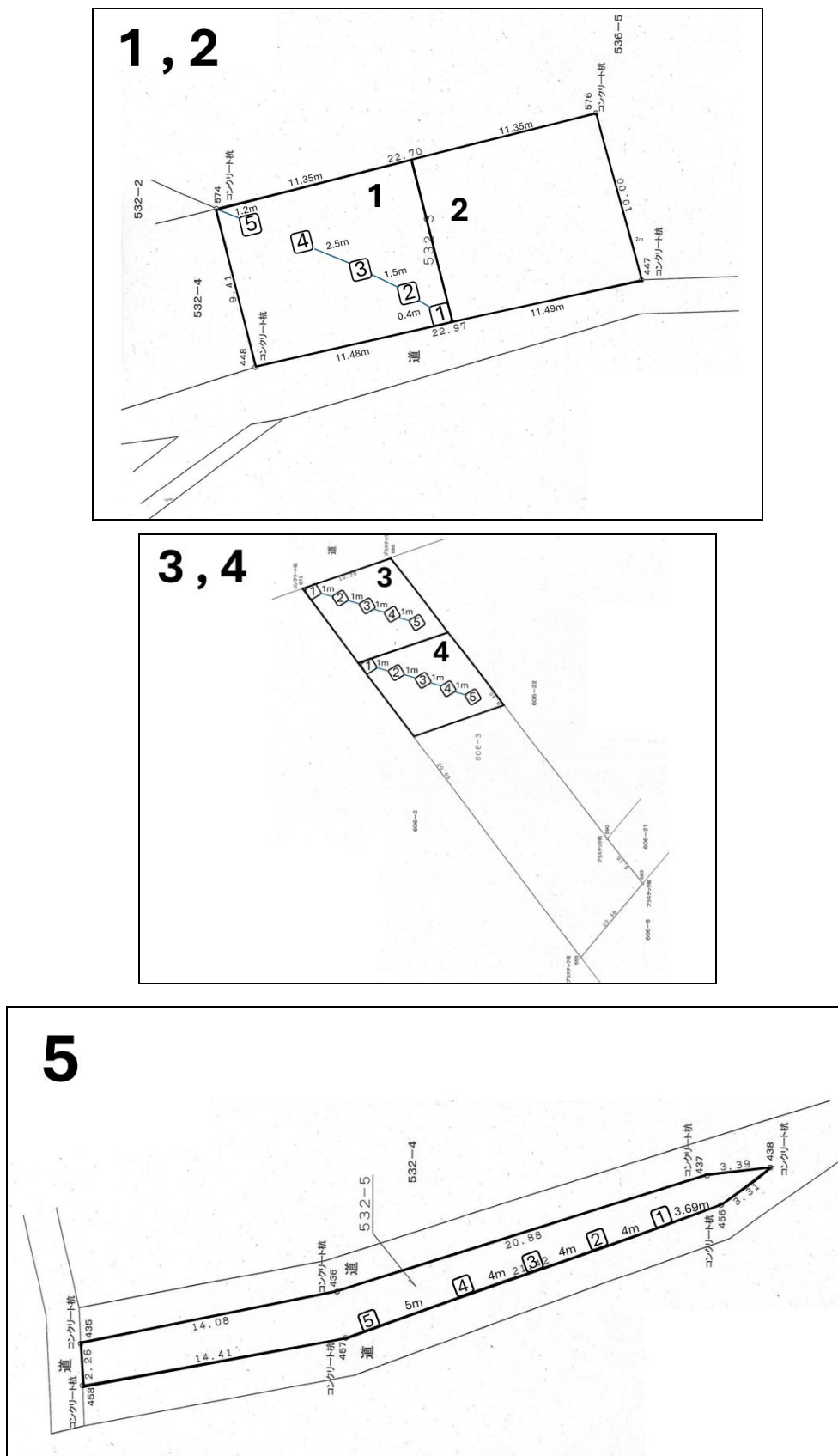


図 9. トトロの森 51 号地の下層植生調査コドラート位置図



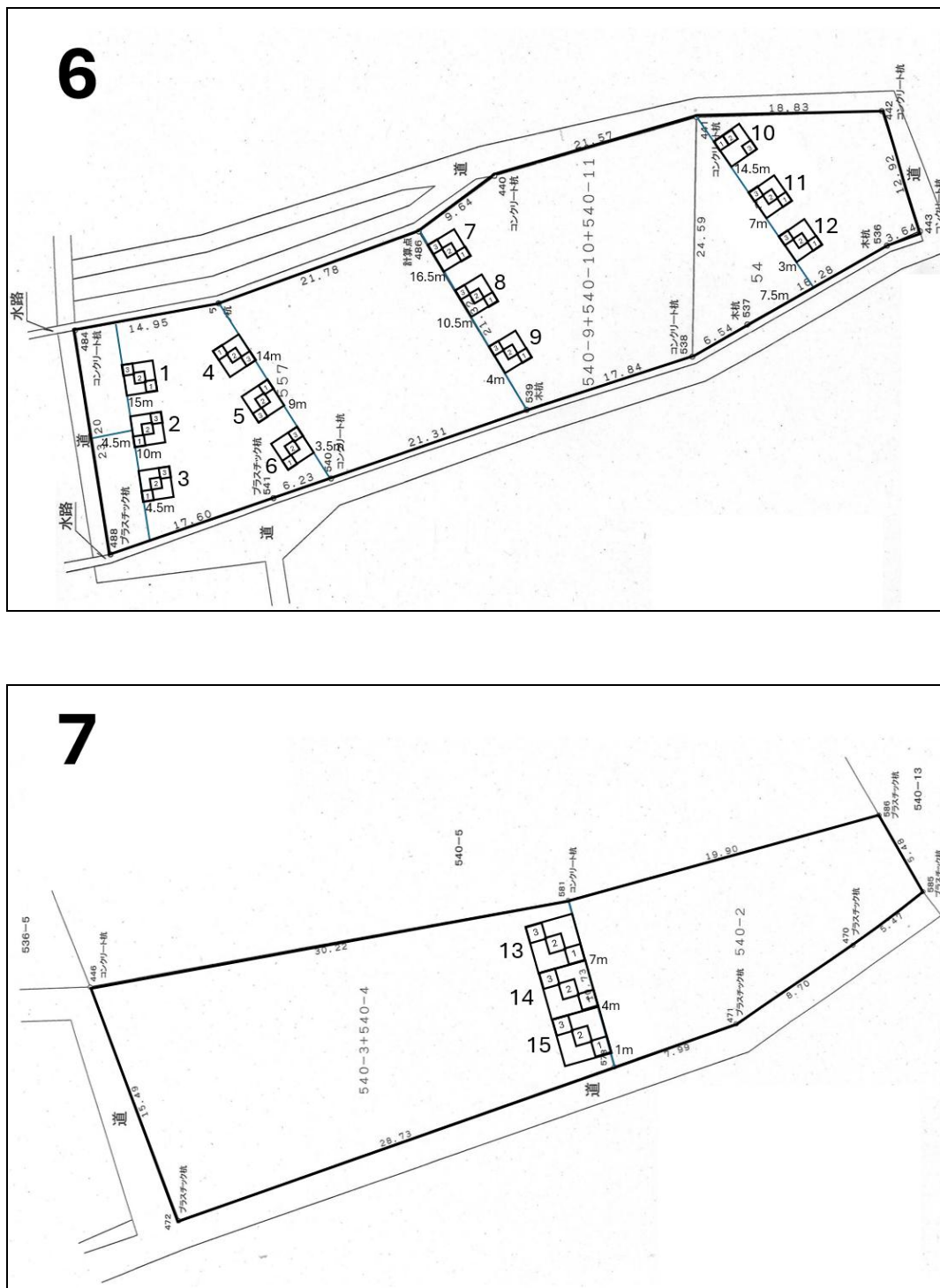


図 12. トトロの森 51 号地の湿地植生調査コドラート位置図

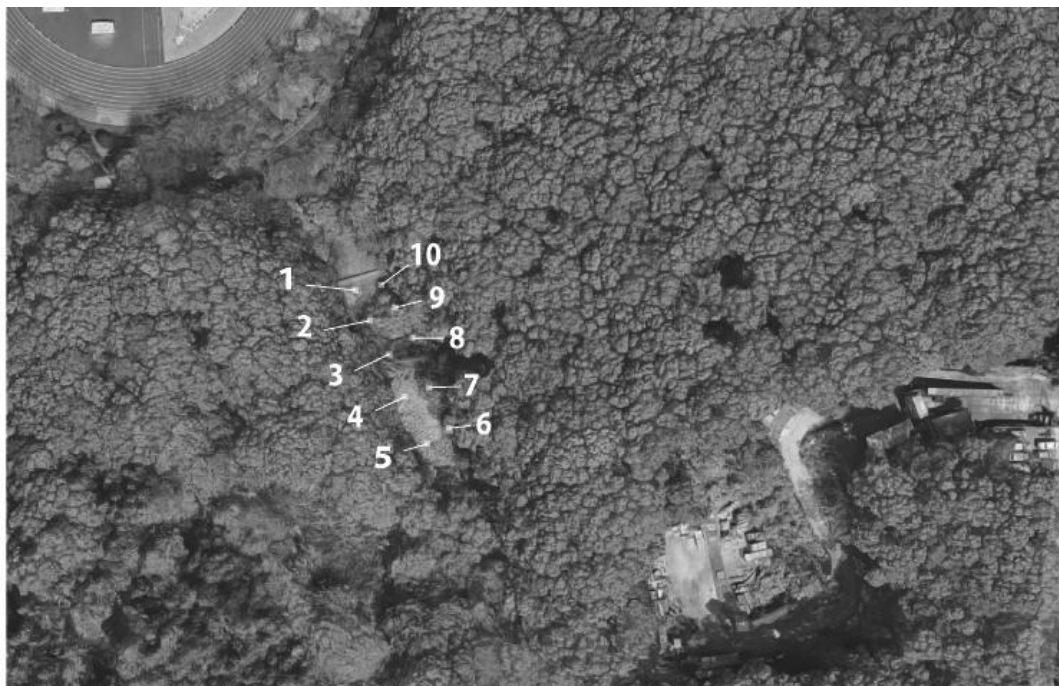


図 13. 2017 年 11 月 17 日トトロの森 51 号地の湿地植生調査コードラート位置図

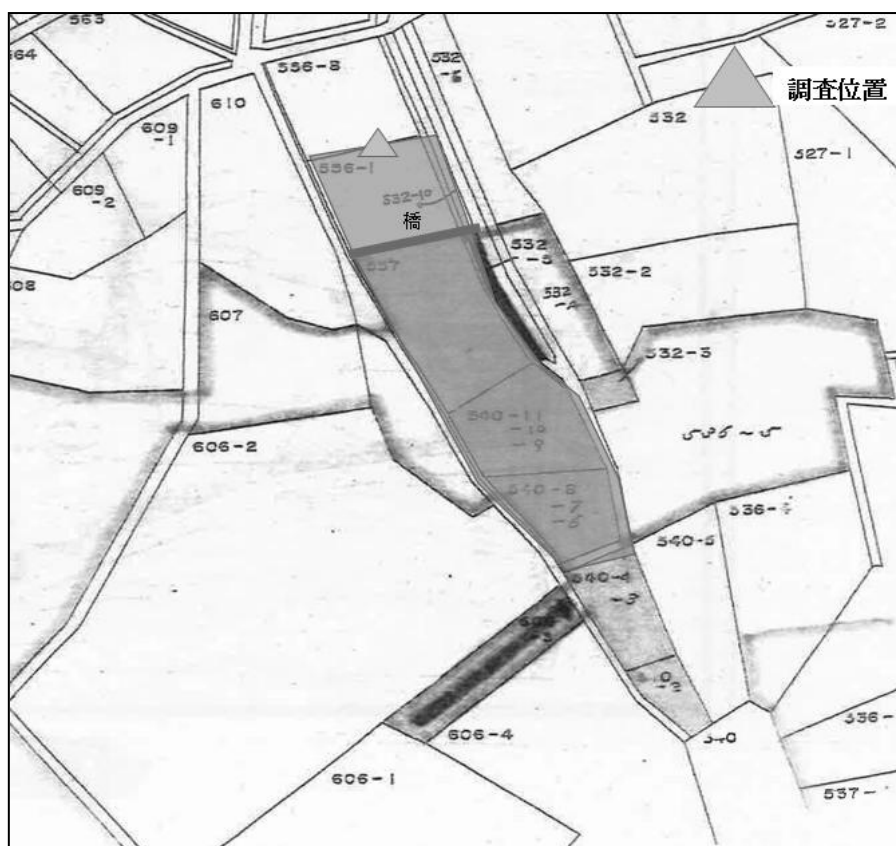


図 14. トトロの森 51 号地の湧水量調査位置図

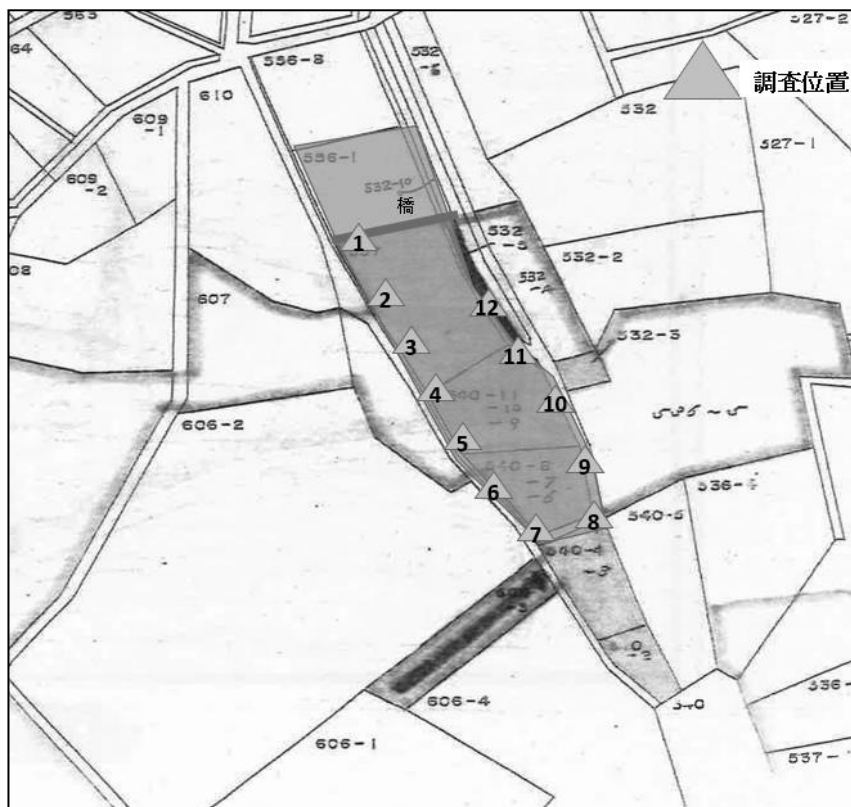


図 15. トトロの森 51 号地の水質調査位置図

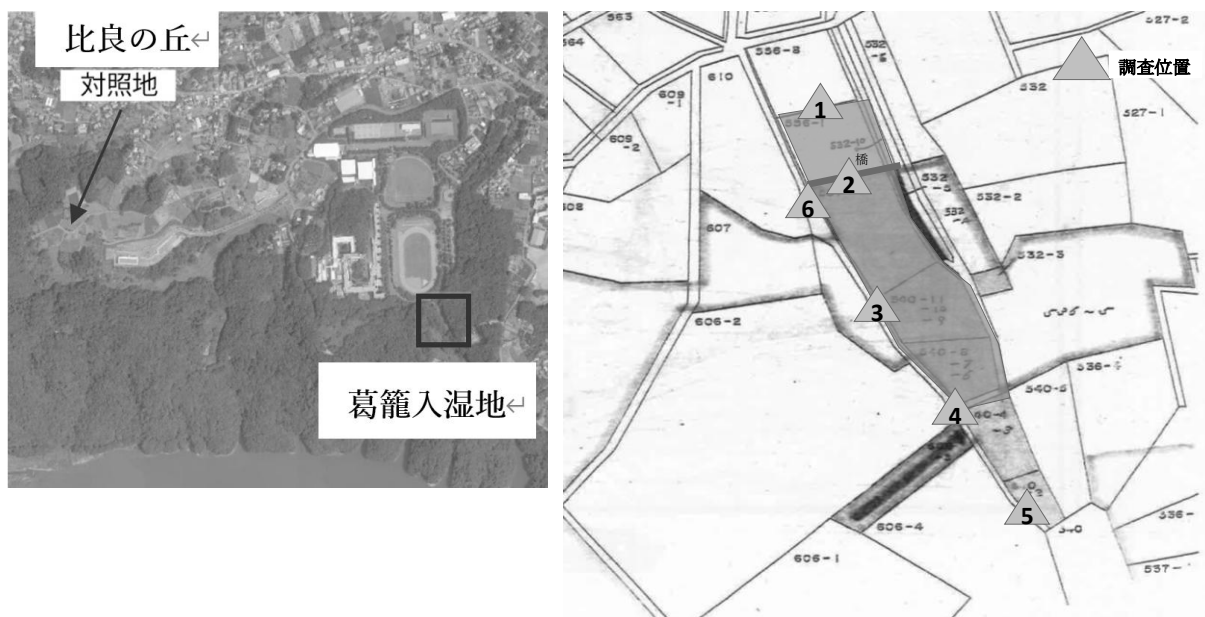


図 16. トトロの森 51 号地の照度調査位置図



トトロの森 51 号地の 100 m<sup>2</sup>あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値 (BA)、胸高直径 (DBH)、樹高 (m) 及び、1 m<sup>2</sup>あたりの下層植生 (高さ < 1.0m) の被度 (%) と高さ (cm) を示す。

表 2. 上層木

種名	本数/ 100m <sup>2</sup>	胸高直径 (DBH) 平均 (cm)	胸高断面積 (BA) (cm <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> )	樹高 平均 (m)
アオキ	3.8	3.1	27.0	2.3
アオダモ	1.8	5.1	53.7	6.8
アオハダ	0.8	17.8	116.6	6.2
アカメガシワ	0.4	8.9	31.6	5.6
アラカシ	0.2	3.8	2.3	6.0
イヌザクラ	0.8	6.4	29.2	5.4
ウワミズザクラ	0.4	8.9	40.4	9.5
エゴノキ	0.2	9.6	14.3	5.0
エノキ	0.2	36.6	210.6	20.0
キツタ	0.4	6.8	15.1	11.5
クマシデ属の一種	0.6	15.9	133.2	11.0
クマシデ属の一種?	0.2	18.8	55.4	15.0
コナラ	0.8	45.9	1106.0	23.6
サカキ	0.4	1.4	0.7	1.5
シラカシ	7.2	8.8	531.8	8.1
シロダモ	3.4	3.9	42.8	4.0
スギ	0.6	14.0	90.2	10.8
トウネズミモチ	0.8	1.9	2.5	2.2
ネズミモチ	0.2	1.4	0.3	3.0
フジ	0.8	1.8	2.0	3.5
マダケ	2.0	2.5	10.5	6.8
ミズキ	1.2	23.4	655.7	9.4
ムクノキ	0.2	18.5	53.6	14.0
ヤマザクラ?	0.2	10.5	17.3	15.0
種数	24			

表 3. 下層植生

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
アオキ	IV	13.70	43.5
アカメガシワ	I	0.15	17.0
アズマネザサ	IV	19.90	61.6
アマチャヅル	II	4.60	41.3
エゴノキ	I	0.10	20.0
エノキ	I	0.05	18.0
オニドコロ	II	0.70	12.3
キツタ	III	4.05	9.9
ケヤキ	I	0.05	4.0
コウヤボウキ	I	0.10	18.0
コナラ	I	0.10	18.0
ゴヨウアケビ	I	0.05	18.0
ジャノヒゲ	IV	10.00	23.3
シュロ	I	0.40	26.0
シラカシ	I	0.25	14.0
シロダモ	II	1.05	26.5
セリバヒエンソウ	I	0.15	11.5
チヂミザサ	II	2.70	28.7
チャノキ	I	0.05	25.0
ツリバナ?	I	0.05	12.0
テイカカズラ	III	2.40	12.1
トウネズミモチ	I	0.05	16.0
ナツツタ	I	0.10	3.0
ニワトコ?	I	0.15	13.5
ノブキ	I	0.25	10.0
バラ科サクラ類の一種	I	0.30	13.5
フジ	I	0.50	25.7
不明①	I	0.05	10.0
不明②	I	0.05	4.0
マンリョウ	I	0.05	8.0
マンリョウ?	I	0.05	7.0
ミズキ?	I	0.05	25.0
ミズヒキ	I	0.30	27.0
ミツバアケビ?	I	0.05	12.0
ミツバウツギ	I	0.05	7.0
ムクノキ	II	0.50	18.3
ヤブラン	III	2.70	18.6
ラン科の一種?	I	1.00	39.0
種数	38		

トトロの森 51 号地の水域の 1 m<sup>2</sup>あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 4. 夏の調査

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
アオキ	I	6.58	106.8
アケビ	I	2.40	36.9
アズマネザサ	II	4.27	135.6
アマチャヅル	I	0.11	17.0
イネ科③	I	0.04	10.0
イネ科⑤	I	0.01	19.0
イノコズチ	I	0.13	17.0
イノコズチ②	I	0.11	23.0
ウグイスカグラ	I	2.33	103.0
エノキ	I	0.12	6.0
エビヅル	I	0.44	45.0
オオバジャノヒゲ	I	0.11	18.0
オニドコロ	I	0.02	10.0
カナムグラ	I	0.56	32.5
カニツリグサ	I	0.67	33.3
キツタ	I	1.71	10.2
ケキツネノボタン	I	0.18	13.5
ケヤキ	I	0.22	76.0
コケ類①	I	0.57	2.7
コケ類②	I	0.12	2.0
コケ類	I	0.11	2.0
シダ類①	I	0.33	40.0
ジャノヒゲ	II	12.23	20.7
シロダモ	I	1.67	74.0
スイカズラ	I	1.07	26.0
スギナ	II	6.87	22.3
スゲ類	I	0.27	14.8
セリ	III	10.87	16.6
セリ類花	I	0.13	14.5
センニンソウ	I	0.44	46.0
タコノアシ	I	0.02	8.0
タネツケバナ	I	0.38	11.6
チヂミザサ	I	0.87	12.8
チャノキ	I	0.01	10.0
テイカカズラ	I	0.46	4.7
ドクダミ	V	21.49	20.3
ドジョウツナギ?	I	1.16	15.5
ナガバジャノヒゲ	I	0.56	48.0
ヒカゲイノコズチ	I	0.13	28.0
フジ	II	3.50	86.2
不明	I	0.02	3.0
不明(草)	I	0.02	9.0
不明(ツル)	I	0.02	7.0
不明双葉?	I	0.04	2.5
ベニバナ?①	I	0.27	22.0
ベニバナボロギク①	I	0.29	27.0
実生④	I	0.35	4.0
ミゾソバ	IV	17.62	15.6
ミヤマシラスゲ	II	22.33	40.4
ミヤマシラスゲ?	I	0.11	17.0
ヤエムグラ	I	0.01	7.0
ヤブマメ	I	0.09	13.7
ヤブラン	I	6.89	38.8
種数		53	

表 5. 秋の調査

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
アオキ	II	3.89	32.0
アオミズ	I	0.02	19.0
アケビ	I	1.30	31.8
アズマネザサ	I	2.33	82.0
アマチャヅル	I	0.62	16.4
イネ科sp.	I	0.33	75.0
イノコズチ	I	0.76	48.8
イノコズチ?	I	0.33	21.0
エゴノキ?	I	0.02	15.0
エノキ	I	0.02	10.0
キツタ	I	3.09	11.2
クサギ?	I	0.04	19.0
ケヤキ	I	0.22	100.0
ササガヤ	I	0.40	37.0
サンカクイ	I	0.22	160.0
シダ類sp.	I	0.02	12.0
ジャノヒゲ	II	16.09	24.3
シロダモ	I	0.33	45.0
セイヨウカラシナ	I	0.09	2.5
セリ	III	2.56	15.7
セリ?	I	0.11	4.0
センニンソウ	I	0.44	50.0
タコノアシ	I	0.02	35.0
タチツボスミレ	I	0.33	22.5
チヂミザサ	I	1.71	28.5
ツユクサ	I	0.22	30.0
テイカカズラ	I	0.71	7.3
ドクダミ	III	3.44	32.2
ナガバジャノヒゲ	I	0.56	45.0
ヌスビトハギ	I	1.11	80.0
ノブドウ	I	0.56	63.7
ヒメカンスゲ	I	0.33	37.0
ヒメシダ	I	1.44	44.7
フジ	I	1.07	40.0
ヘクソカズラ	I	0.33	63.0
ミズタマソウ	I	0.20	30.0
ミゾソバ	IV	35.58	73.5
ミヤマシラスゲ	III	29.56	56.0
メリケンカルカヤ	I	0.11	53.0
ヤブマメ	I	2.22	46.0
ヤブラン	II	3.89	36.1
ヤマノイモ	I	0.22	68.0
種数		42	

葛籠入湿地の 100 m<sup>2</sup>あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値 (BA)、胸高直径(DBH)、樹高(m)及び、1 m<sup>2</sup>あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 6. 上層木

種名	本数/ 100m <sup>2</sup>	胸高直径 (DBH) 平均 (cm)	胸高断面積 (BA) (cm <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> )
アオキ	0.11	1.5	0.2
アオハダ	0.08	4.3	0.5
アカシデ	0.04	23.2	8.5
イヌザクラ	0.04	10.0	3.0
ウワミズザクラ	0.15	7.7	10.0
エゴノキ	0.53	13.3	52.9
エノキ	0.04	6.1	1.1
カマツカ	0.04	19.1	2.7
カマツカ?	0.11	5.7	3.5
ケヤキ	0.04	53.2	52.5
コナラ	0.11	18.5	46.7
シデ	0.15	11.9	17.3
シロダモ	0.87	4.0	13.1
ヒサカキ	0.19	3.2	1.5
マユミ	0.08	1.8	0.2
マルバヤナギ	0.04	159.6	197.0
ミズキ	0.38	19.7	123.2
ミズキ?	0.04	4.9	0.7
ムラサキシキブ	0.15	6.6	2.4
ヤマザクラ	0.04	12.6	4.7
ヤマザクラ?	0.04	25.0	7.8
種数		21	

表 7. 下層植生

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
ガマ	I	0.20	80.00
キツネノボタン	I	0.20	15.00
ゴウソ	I	1.50	40.00
コウヤワラビ	I	3.50	50.00
スギナ	III	12.00	36.00
セリ	IV	4.90	26.88
タネツケバナ	I	0.20	7.00
ツボスミレ	I	2.00	40.00
ドクダミ	V	16.70	28.00
フジ	I	1.00	40.00
ミゾソバ	III	16.20	30.83
ミヤマシラスゲ	V	18.00	44.44
種数		12	

表 8. トトロの森 51 号地の湧水量調査結果

測定日時	2017年11月17日(金)12時15分	
回数	1回目	2回目
測定時間	3秒	3秒
水量	2リットル	2リットル

表 9. トトロの森 51 号地の水質調査結果

木道側							
測定地点	①木橋下	②15m	③30m	④45m	⑤60m	⑥75m	⑦80m
流水	有	無	無	無	無	無	有
測定時	9:50	10:05	10:20	10:35	10:45	10:55	11:05
水温 (°C)	6.0	7.0	7.0	7.0	9.0	10.0	9.3
PH	8.0	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.4
	8.0	7.1	6.9	6.9	6.8	6.7	6.4
	8.0	7.1	6.9	6.8	6.9	6.6	6.6
EC (μS/cm)	330	310	330	410	610	780	690
	340	310	360	450	640	780	680
	340	310	360	450	640	780	690
山側							
測定地点			⑩30m	⑪45m	⑩60m	⑨75m	⑧80m
			無	無	無	無	有
測定時			11:55	11:45	11:35	11:25	11:15
水温 (°C)			9.00	9.00	10.5	11.00	11.00
PH			7.3	7.3	6.8	6.7	6.9
			7.3	7.3	7.1	6.7	6.7
				7.3	7.1	6.9	6.7
EC (μS/cm)			280	280	250	230	420
			270	280	260	220	410
				270	260	230	410

表 10. トトロの森 51号地の照度調査結果

調査地点 天面 (樹冠) 状況	No.1					No.2				
	被度: 100%					被度: 0%				
	時間	点灯時照度 (lux)	消灯時照度 (lux)	点灯時対照地照度 (lux)	雲量 (%)	時間	点灯時照度 (lux)	消灯時照度 (lux)	点灯時対照地照度 (lux)	雲量 (%)
2018/1/19 ほぼ満月 (月齢12.3)	18:15 -18:25	0.2	0.2	0.25	—	18:30 -18:40	0.3	0.2	0.25	—
2018/6/26 ほぼ満月 (月齢12.3)	21:00 -21:10	—	0	—	0	21:15 -21:25	—	0.09	—	0
2018/7/11 中潮 (月齢27.3)	—	—	—	—	—	20:15 -20:25	—	0.1 直達光0.04	—	90
2018/10/23 ほぼ満月 (月齢14.0)	—	—	—	—	—	18:40 -18:50	1m高 0.1 3m高 0.105	—	—	—

調査地点 天面 (樹冠) 状況	No.3					No.4				
	被度: 100%					被度: 100				
	時間	点灯時照度 (lux)	消灯時照度 (lux)	点灯時対照地照度 (lux)	雲量 (%)	時間	点灯時照度 (lux)	消灯時照度 (lux)	点灯時対照地照度 (lux)	雲量 (%)
2018/1/19 ほぼ満月 (月齢12.3)	18:45 -18:55	0.2	0.1	0.24	—	19:00	0.2	0.2	0.23	—
2018/6/26 ほぼ満月 (月齢12.3)	21:45 -21:55	—	0	—	0	22:00 -22:10	—	0	—	0
2018/7/11 中潮 (月齢27.3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2018/10/23 ほぼ満月 (月齢14.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

調査地点 天面 (樹冠) 状況	No.5					No.6				
	被度: 100%					被度: 100%				
	時間	点灯時照度 (lux)	消灯時照度 (lux)	点灯時対照地照度 (lux)	雲量 (%)	時間	点灯時照度 (lux)	消灯時照度 (lux)	点灯時対照地照度 (lux)	雲量 (%)
2018/1/19 ほぼ満月 (月齢12.3)	19:05	—	0.1	0.21 (消灯時)	—	18:43	0.4	0.1	0.21	—
2018/6/26 ほぼ満月 (月齢12.3)	22:15 -22:25	—	0	—	0	21:30 -21:40	—	0	—	0
2018/7/11 中潮 (月齢27.3)	—	—	—	—	—	20:00 -20:10	—	0	—	90
2018/10/23 ほぼ満月 (月齢14.0)	19:20 -19:30	—	1m高 0.005	—	—	18:55 -19:15	1m高 0.13 2.5m高 0.035	1m高 0.03 直達光0.035	—	—

2022年のトトロの森 56号地の100㎡あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)、樹高(m)及び、1㎡あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 11. 上層木

種名	本数/ 100m <sup>2</sup>	胸高直径 (DBH) 平均 (cm)	胸高断面積 (BA) (cm <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> )
アオキ	0.7	6.9	11.3
アオハダ	0.2	35.6	60.2
イヌツゲ	0.3	7.6	10.6
エゴノキ	0.9	11.4	61.6
エゴノキ?	0.2	4.7	2.0
エノキ	0.2	37.5	488.9
ガマズミ?	0.1	1.6	0.2
カマツカ	0.3	4.0	2.8
クサギ?	0.1	8.9	5.0
クヌギ	0.2	48.7	336.1
クリ	0.1	14.3	13.0
ケヤキ?	0.2	10.3	10.3
コゴメウツギ?	0.1	8.4	1.3
コナラ	3.6	41.3	4197.1
シデ類sp.	0.1	14.0	12.5
シュロ	0.3	15.5	61.5
シラカシ	0.8	14.4	139.8
シロダモ	0.3	16.3	78.0
チャノキ	0.1	1.1	0.1
ツバキ	0.1	7.0	3.1
ニワトコ	0.1	1.9	0.2
ネジキ	0.1	3.3	0.7
ネズミモチ	0.7	6.6	19.9
ヒサカキ	0.1	9.9	3.4
不明	0.2	6.7	13.7
不明1	0.1	26.4	12.5
不明B	0.1	3.2	0.3
不明C	0.2	5.6	7.1
不明D	0.2	3.2	2.7
不明E	0.2	2.9	1.6
不明F	0.1	1.3	0.1
不明G	0.1	3.5	0.8
不明H	0.1	8.6	1.6
不明X	0.2	8.9	2.2
不明Y	0.1	1.3	0.1
不明Z	0.1	6.4	2.6
ムクノキ	0.1	18.8	13.2
ムクノキ?	0.1	11.1	7.9
ムラサキシキブ	0.2	3.3	1.0
ヤツデ	0.2	2.9	1.1
種数		40	

表 12. 下層植生

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
アケビ	I	0.72	30.00
アズマネザサ	V	53.21	60.83
イチャクソウ	I	0.17	5.00
イトスゲ	I	0.00	11.00
イトスゲ?	I	0.00	18.00
イネ科sp.	I	0.35	22.70
ウグイスカグラ	I	2.69	62.40
ウワミズザクラ	I	0.86	25.00
オニタビラコ?	I	0.00	7.50
オニノゲシ	I	0.00	6.00
カギイチゴ?	I	0.17	43.00
ガマズミ	I	1.17	35.25
ガマズミ?	I	0.34	45.00
コウヤボウキ	IV	19.14	46.22
コナラ	III	1.90	20.07
サルトリイバラ	I	0.45	30.00
ジシバリ	I	0.04	4.33
ジャノヒゲ	II	1.14	12.83
シラヤマギク	I	0.69	8.50
スイカズラ	I	0.38	67.50
スゲ類sp.	I	0.17	13.50
センニンソウ	I	0.00	12.00
センリョウ	I	0.21	48.50
タチツボスミレ	I	0.24	9.50
ノイバラ	I	0.17	41.00
ノゲシ	I	0.00	8.00
ノゲシ?	I	0.17	5.00
ノブキ?	I	0.00	8.00
ヒメオドリコソウ	I	0.03	8.00
ヒメカンスゲ	I	0.69	28.00
フキ	I	0.07	20.00
不明1	I	0.17	5.00
不明2	I	0.17	10.00
不明3	I	0.34	10.00
不明双葉	I	0.00	1.00
ミツバツチグリ	I	0.28	7.00
モエギスゲ	I	0.34	16.00
ヤブカンゾウ	I	1.72	20.00
ヤブタビラコ	I	0.17	6.00
ヨモギ	I	0.17	6.00
種数		40	

2025 年のトトロの森 56 号地の 100 m<sup>2</sup>あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)、樹高(m)及び、1 m<sup>2</sup>あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 13. 上層木

種名	本数/ 100m <sup>2</sup>	胸高直径 (DBH) 平均(cm)	胸高断面積 (BA) (cm <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> )	樹高 平均 (m)
アオハダ	0.32	38.3	88.20	8.69
イヌツゲ	0.08	12.1	9.29	5.00
エゴノキ	0.89	14.7	58.81	4.21
エノキ	0.24	34.5	535.63	10.67
カマツカ	0.40	16.8	20.87	2.87
クヌギ	0.08	78.7	196.88	25.00
コナラ	1.78	41.5	1946.44	20.50
サワフタギ	0.08	38.4	17.64	5.00
シラカシ	0.49	17.5	117.00	13.57
タラノキ	0.08	4.8	1.45	2.00
ネムノキ	0.08	2.5	0.41	5.00
ヒサカキ	0.08	8.6	1.59	3.67
ムラサキシキブ	0.24	8.3	4.32	2.92
モミジイチゴ	0.08	4.8	0.37	2.00
ヤマウルシ	0.16	5.5	2.79	3.67
種数			15	

表 14. 下層植生

種名	常在度 (%)	被度 平均(%)	高さ 平均(cm)
アオキ	I	0.60	23.0
アケビ	I	0.37	21.5
アズマネザサ	V	16.77	23.8
イチヤクソウ	I	0.03	1.0
イヌホオズキ	I	0.03	9.0
イネ科の仲間	I	0.30	25.7
イボタノキ?	I	0.17	30.0
ウグイスカグラ	I	0.03	7.0
エゴノキ?	I	0.03	25.0
エノキ	I	0.37	15.0
オオイヌノフグリ	I	0.03	7.0
オオバコ	I	0.03	2.0
カキドオシ	I	0.03	1.0
カナムグラ	I	0.10	4.0
ガマズミ	I	0.23	13.3
キジムシロ	I	0.03	4.0
コウヤボウキ	IV	2.70	16.0
コナラ	II	1.21	14.4
ササガヤ	I	0.50	4.5
ササガヤ?	I	1.67	3.3
ジシバリ	II	0.50	9.0
シバ	I	0.17	13.0
ジャノヒゲ	I	0.23	21.0
シラカシ	I	0.07	10.0
シラヤマギク	II	1.83	9.9
スイカズラ	II	1.60	21.2
スゲ属の仲間	I	0.37	22.0
スミレ科の仲間	I	0.03	6.0
タチツボスミレ	I	0.33	7.3
タラノキ	I	0.07	20.0
チャノキ	I	0.10	15.0
ツユクサ?	I	0.03	6.0
ニワトコ	I	0.33	28.0
ノガリヤス	I	1.43	26.7
ノゲシ	I	0.10	16.0
ノダケ	I	0.10	20.0
ノブキ	I	0.27	20.0
ハゼノキ	I	0.03	6.0
ヒカゲスゲ	I	0.50	22.0
ヒカゲスゲ?	I	0.43	15.3
ヒヨドリジョウゴ	I	0.33	30.0
不明1	I	0.03	5.0
不明2	I	0.03	12.0
不明3	I	0.03	30.0
ヘビイチゴ?	I	0.03	7.0
マサキ	I	0.03	10.0
マユミ	I	0.27	40.0
マンリョウ	I	0.03	9.0
ミツバアケビ	I	0.33	30.0
ミツバツチグリ	I	0.10	7.0
モミジイチゴ	I	0.33	16.4
ヤブヅラミ	I	0.03	5.0
ヤマユリ	I	0.10	28.0
ユリ科の仲間	I	0.07	6.0
種数		54	

トトロの森 61号地の 100 m<sup>2</sup>あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値 (BA)、胸高直径 (DBH)、樹高 (m) 及び、1 m<sup>2</sup>あたりの下層植生 (高さ < 1.0m) の被度 (%) と高さ (cm) を示す。

表 15. 上層木

種名	本数/ 100m <sup>2</sup>	胸高直径 (DBH) 平均 (cm)	胸高断面積 (BA) (cm <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> )	樹高 平均 (m)
アオキ	2.5	3.03	9.3	1.9
アオハダ	0.5	4.65	5.3	2.6
アオハダ?	0.2	4.62	4.0	4.0
イヌザクラ	0.1	52.23	121.0	15.5
イヌツゲ	1.9	3.55	21.4	2.2
イロハモミジ	0.3	1.54	0.6	2.0
ウグイスカグラ	0.4	4.58	2.6	1.8
エゴノキ	0.6	4.19	9.5	4.4
キリ	0.1	36.94	100.6	15.0
クマシデ属sp.	0.1	15.29	17.2	12.0
クリ	0.2	45.06	178.7	18.5
クワ	1.1	17.70	259.6	6.4
コナラ	0.8	42.22	929.2	18.8
サンショウ	0.1	2.87	0.6	3.5
シデ?	0.2	10.51	17.8	8.5
シラカシ	3.6	7.99	129.2	7.2
スギ	0.4	43.71	581.5	18.5
チャノキ	0.2	5.25	0.7	1.2
トウネズミモチ	0.8	2.99	3.9	2.5
ナンテン	0.3	0.96	0.2	1.4
ニワトコ	0.3	9.13	14.7	2.7
ネズミモチ	0.1	4.14	1.3	6.0
フジ	1.0	3.07	8.6	4.8
不明①	0.1	39.01	56.4	10.0
不明②	0.1	19.11	26.9	17.0
不明③	0.1	20.06	29.7	15.0
不明④	0.1	11.46	9.7	15.0
不明⑤	0.1	1.91	0.3	5.0
マユミ	1.7	5.40	64.8	3.0
ミズキ	1.3	12.58	195.1	7.7
ミズキ?	0.1	16.24	19.4	12.0
ムクノキ	2.3	4.37	105.1	3.7
ムクノキ?	0.2	1.75	0.5	2.5
モウソウチク	0.1	10.51	8.1	17.0
ヤマザクラ	0.1	8.60	5.4	10.0
ヤマツツジ	0.1	7.01	1.5	2.0
種数	36			

表 16. 下層植生

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
アオキ	Ⅲ	3.20	26.0
アケビ	I	0.42	15.3
イヌツゲ	I	0.75	25.0
イネ科sp.	I	1.82	15.0
ウグイスカグラ	I	0.02	21.0
オオアラセイトウ	Ⅲ	15.18	8.5
オオバジャノヒゲ	I	0.56	10.0
カキドオシ	I	0.36	3.0
カキドオシ?	Ⅱ	2.73	5.0
キツタ	Ⅱ	5.73	7.5
クサイチゴ	Ⅱ	2.11	16.4
クサイチゴ?	I	0.05	10.0
クサボケ	I	0.11	42.5
ジャノヒゲ	Ⅳ	7.96	10.6
シラカシ	I	0.22	21.0
スイカズラ	I	1.24	13.3
スイセン	I	0.09	14.0
セリバヒエンソウ	I	0.33	5.0
タチツボスミレ	I	0.04	5.0
チャノキ	I	0.80	35.5
テイカカズラ	I	1.00	7.6
トウネズミモチ	I	0.18	15.0
ナガバジャノヒゲ	I	1.55	15.5
ネズミモチ	I	0.02	14.0
フッキソウ	I	0.27	20.0
ヘビイチゴ	I	0.05	8.0
ヘビイチゴ?	I	0.02	4.0
マンリョウ	I	0.73	14.9
ミツバアケビ	I	0.58	13.3
ムラサキケマン	I	0.40	8.3
ヤエムグラ	Ⅲ	1.67	7.8
ヤブコウジ	I	0.13	12.3
ヤブラン	Ⅲ	7.98	13.5
種数	33		

トトロの森 64 号地の 100 m<sup>2</sup>あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値 (BA)、胸高直径 (DBH)、樹高 (m) 及び、1 m<sup>2</sup>あたりの下層植生 (高さ < 1.0m) の被度 (%) と高さ (cm) を示す。

表 17. 上層木

種名	本数/ 100m <sup>2</sup>	胸高直径 (DBH) 平均 (cm)	胸高断面積 (BA) (cm <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> )	樹高 平均 (m)
アオキ	9.0	3.0	50.1	1.9
アオダモ	2.8	13.8	299.8	8.9
アラカシ	1.2	10.7	129.1	13.3
イヌザクラ	0.4	7.5	17.7	11.5
イヌシデ	0.4	18.9	123.6	20.0
イヌツゲ	1.2	2.3	4.6	1.9
ウグイスカグラ	0.6	1.7	1.6	1.8
ウワミズザクラ	1.0	4.6	12.9	4.1
エゴノキ	1.0	8.6	41.1	4.1
クサギ	0.2	1.0	0.1	2.0
ケヤキ	0.2	4.5	3.1	3.5
コナラ	1.2	59.3	2245.1	27.8
サクラ属の一種?	0.6	3.7	8.0	4.0
シラカシ	3.8	5.7	92.9	4.6
シロダモ	0.4	2.1	1.4	2.0
ネズミモチ	0.4	2.6	2.3	2.5
ヒサカキ	5.8	5.8	164.3	4.1
ムクノキ	0.2	1.8	0.5	3.5
ムラサキシキブ	0.2	2.9	1.3	4.0
リョウブ	0.2	3.8	1.2	2.8
種数	20			

表 18. 下層植生

種名	常在度 (%)	被度 平均 (%)	高さ 平均 (cm)
アオキ	V	15.96	40.2
アケビ	I	0.13	10.0
アズマネザサ	III	9.72	43.9
アマチャヅル	I	0.48	9.3
アラカシ	I	0.40	37.0
イヌツゲ	I	0.48	55.0
ウグイスカグラ	I	0.12	18.5
エゴノキ	I	0.04	55.0
オオバジャノヒゲ	I	0.68	15.3
カマツカ?	I	0.40	91.0
キツタ	V	24.36	13.2
クサギ	I	0.60	73.0
クロヤツシロラン	I	0.04	20.0
クワ	I	0.20	34.0
ケヤキ	I	0.04	10.0
コナラ	I	0.04	21.0
ゴズイ	I	0.04	28.0
サイハイラン	I	0.52	22.0
サルトリイバラ	I	0.40	250.0
ジャノヒゲ	V	20.04	20.0
シュロ	I	0.04	25.0
シュンラン	I	0.76	21.0
シラカシ	I	1.04	44.7
スイカズラ	II	1.14	25.6
スズメウリ	I	0.32	60.0
スマレ属の一種	I	0.04	8.0
チヂミザサ	I	0.04	16.0
チャノキ	I	0.28	10.3
テイカカズラ	IV	3.22	10.5
トウネズミモチ	I	0.04	40.0
ドクダミ	I	0.12	38.0
ナガバジャノヒゲ	III	8.60	27.5
ヌルデ	I	0.20	34.0
ネズミモチ	I	0.12	20.0
ノガリヤス	I	0.80	110.0
ヒサカキ	I	0.24	20.0
不明 I	I	0.04	18.0
ヘクソカズラ	I	0.04	40.0
ミツバアケビ	I	0.64	31.0
ムクノキ	I	0.04	47.0
ムラサキシキブ	I	0.04	24.0
ヤブコウジ	II	1.30	12.1
ヤブマメ	I	0.12	82.0
ヤブラン	III	3.08	19.3
ヤマノイモ	I	1.20	230.0
種数	45		